

平成27年度の活動状況



～ツルが安心して越冬できるようにするために～



ツルの自然体験学習会



モミ撒き

夏の学習会



ツルの学習

今年度も、地元の東中筋中学校と東中筋小学校の子どもたちが、ツルの越冬地整備を手伝ってくれました。

まず、6月30日には、国土交通省が「四万十川自然再生事業（ツルの里づくり）」で中筋川の中山箇所と間箇所を整備した湿地で、ツルの学習とモミ撒きを行いました。

中山箇所では、平成25年度にマナヅルが越冬した時の様子を写真で学習。今年度は洪水があってもツルのえさとなる稲が実るよう、苗を植えていることなどの説明も受けました。また、間箇所では、国土交通省の職員の方から湿地整備のポイント等の話を聞き、秋に広範囲に稲が実るよう、力いっぱいモミを撒きました。

10月29日には、夏にモミ撒きをしたえさ場で稲の育ち具合を確認。間箇所は洪水でモミの一部が流されていましたが、中山箇所ではえさ場全体で稲が黄色く色づいている様子に一安心。

江ノ村箇所では、小学生はツルを呼び寄せるための模型「デコイ」の設置を完了させた後、長年の風雨で汚れた啓発看板を掃除しました。中学生は、ツルが周辺を見渡し安心して過ごせるよう、四万十ロータリークラブの方々と一緒にえさ場の周りの草刈りを行いました。



デコイ設置



看板清掃



ロータリークラブの方々は草刈機で背の高い草を刈ってくれました



草刈り

平成27年度総会



9月25日に開催された総会では、会長挨拶の後、昨年度の事業報告として、四万十つるの里づくりの会、四万十川自然再生協議会、国土交通省中村河川国道事務所、四万十市の協働による「つるシンポジウムin四万十」の開催や、国土交通大臣表彰「手づくり郷土賞」の受賞など、これまでになかった活動や成果も紹介されました。

また、平成27年度も例年どおりの事業が展開されることが決定し、「ツルの飛来状況調査」に向けて、専門家を講師に招いてツルの生態などについて見識を深めました。



武田正会長の挨拶



日本野鳥の会高知支部会員の木村宏氏による幡多の野鳥に関する講演



もち・菓子投げ



四万十の野草がゆ無料試食会

11月28日に、中筋川流域の冬のイベントとしておなじみとなったお祭りを、四万十市立東中筋中学校で開催しました。

四万十川河畔でつんだ野草とツルの越冬地として整備した江ノ村地区の水田でとれたお米を使ったおかゆや、フランクフルト、田舎寿司などが並ぶ「ツル食堂」のほか、作って飛ばす紙飛行機大会、野鳥の巣箱作りなどの体験イベント、漫談や土佐中村一條太鼓のステージなど、子どもからお年寄りまで楽しめるイベントでおもてなし。

とても寒い一日でしたが、集まって下さった約800人の皆様に、「楽しさ」や「美味しさ」を通じて、「ツルの里づくり」に親しんでいただきました。



フランクフルトおいしいね！

トントン、ギコギコ、楽しく巣箱作ったよ！



作って飛ばす！紙飛行機大会



第7回 四万十つるの里祭り



デコイと一緒にはいチーズ！



ツルの写真等パネル展

